

平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日

特定非営利活動法人
青森県消費者協会

I 事業の成果

創立53周年を迎えた協会は、これまでの先輩の方々の歩みを礎とし、協会職員としての団結の元、職員それぞれの自覚と研鑽に励み、各事業の実施に当たって、その成果も着実に前進拡大して参りました。

平成29年度実施した主な事業のうち、先ず協会自主事業につきましては、11月8日に「第53回消費者大会」を県民福祉プラザに23協力団体が一堂に会し、盛大に開催いたしました。

開会式に続き、満員のホールにおいて、県立五所川原農林高等学校山口校長の基調講演を皮切りに、連携協定を締結している田中学園、青森大学の協力による、浦町保育園の園児によるダンス、大学生による消費者トラブル啓発電子紙芝居やラップパフォーマンス、大学内での消費者トラブル防止の取組発表、また、恒例のリフォームファッションショー、健康ミニ講座等、幅広い世代による多彩な演出で、誰もが楽しめる大会として盛会のうちに開催したところです。

また、協会では、平成28年7月に、定款第52条の規定に基づく組織として設置した「消費者協会事例検討委員会」において、消費者トラブルに係る事例及び契約約款等についての調査、検討を行い、本年度は、事業者に契約約款の照会および改善の申入れを行うなど、積極的な委員会活動を展開しているところです。

県センター事業である「大学講座」を卒業した消費生活大学院生を中心とした研修や啓発活動を、協会自主事業として、協会では引き続き支援しています。

次に、県からの受託事業である相談業務については、県内全体の消費者からの相談件数は、ほぼ横ばいの数字を示したものの、特に高齢者を狙った架空請求事案が増嵩し、その未然防止が急務となっています。

平成28年4月1日から条例措置された県内各消費者センターでは、各自治体の出先機関として、消費者トラブル相談についての的確、迅速な対応が施され、より一層、行政担当部局との連携強化が図られているところであります。

協会においては、消費生活センター業務の受託について、県からは14年目、青森市から5年目、五所川原市からは3年目を迎え、近時の特殊詐欺等複雑多様化する相談事例に対し、専門的な知識を有する相談員が適切なアドバイスを提供し、トラブルの解決に向けて、日々、相談業務に務めています。

また、県消費生活センターでは、消費者トラブルの未然防止対策として、各消費者センター巡回指導、啓発グッズの配布、ラジオ、テレビ等各種広報媒体を活用した大規模広報活動、寸劇を交えた出前講座等、広く県民に対し多彩な啓発活動を実施しているところです。他に、県内関係団体との連携を図りながら、消費者ホットライン「188(いやや)」の周知及び消費者トラブルに係る情報共有を図り、さらに、県内主要地において、消費者庁から委嘱された「消費者教育推進大使 テルミちゃん」の着ぐるみを活用したPR活動を機動的に行ったところです。

もう一つの柱である消費者教育については、県立高等学校3校(青森中央高校、青森商業高校、浪岡高校)と青森第二養護学校で消費者問題に係るモデル授業を行い、その成果について、関係教員を対象とした消費者教育セミナーにおいて、実践発表及びワークショップを実施し、情報共有を図ったところです。

他に、県内2地域(外ヶ浜町、むつ市)においてブロックフォーラムを開催し、地域の関係団体相互の連携に努め、さらに、東北、北海道ブロック及び全国消費者フォーラムへの参加による県内の消費者団体等のリーダー育成及び県内外における団体交流を実施しました。

以上の結果、消費者の保護と権利の実現に寄与することができたものと考えています。

II 平成29年度事業別内容

1 特定非営利活動に関する自主事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|-----------------------------|--|--------|------------------------|-----------|-----------------|-----------------|
| (1)消費者問題に関する企画運営事業 | 消費生活大学院講座 企画共催講座等 | 平成29年 | | | 県内一般市民 | 支払金額 115(千円) |
| | 楽しいテルミちゃん川柳 | 4月11日 | 青森市 | 1 | 9 | |
| | 血液の循環を良くする 簡単！ストレッチ体操 | 4月19日 | 青森市 | 2 | 10 | |
| | 昔がたり&高木恭造の世界 大学院の29年度について | 4月26日 | 青森市 | 5 | 15 | |
| | かしこい消費者になろう！講座 体験とクイズで楽しく消費者力 アップ！ | 5月16日 | 青森市 | 2 | 16 | |
| | 高齢者の安心を支える地域包 括支援センターの取組につい て | 6月7日 | 青森市 | 2 | 17 | |
| | 楽しいテルミちゃん川柳 (第2回) | 6月22日 | 青森市 | 2 | 8 | |
| | 澄川地熱発電所&鉱山遺跡の 町をめぐるバスツアー | 7月13日 | 秋田県澄川地 熱発電所、小 坂市 | 3 | 19 | |
| | 歌って健康！うたごえ“出前” 喫茶～なつかしいあの曲を聴 いて歌って楽しみましょう～ | 7月31日 | 青森市 | 3 | 15 | |
| | 環境にやさしい農業 産地見 学バスツアー | 8月25日 | 平川市、田舎 館村方面 | 2 | 41 | |
| | シンガポールの文化を知ろう！ | 8月30日 | 青森市 | 4 | 16 | |
| | 資源ごみリサイクル施設「ECO プラザ青森」見学会 | 9月13日 | 青森市 | 3 | 17 | |
| | 楽しいテルミちゃん川柳 (第3回) | 9月20日 | 青森市 | 3 | 11 | |
| | 地元食材を使用した料理教室 | 10月10日 | 青森市 | 3 | 14 | |
| | 寸劇で学ぼう！悪質商法～電 話や訪問での詐欺の手口とそ の対処法について～ | 10月23日 | 青森市 | 3 | 11 | |
| | 第53回消費者大会を振り返 る茶話会 | 11月27日 | 青森市 | 6 | 17 | |
| | 明治の食育★出前料理講座 | 12月7日 | 青森市 | 3 | 21 | |
| 介護予防講座 やってみよ う！『ふまねっと運動』 | 12月20日 | 青森市 | 3 | 14 | | |
| 楽しいテルミちゃん川柳 (第4回) | 平成30年 1月17日 | 青森市 | 3 | 10 | | |
| 終活を一緒に考えよう | 1月31日 | 青森市 | 3 | 19 | | |

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|----------------------|--|----------------|--------|-----------|-----------------|--------------------------------|
| (1)消費者問題に関する企画運営事業 | みんなで楽しく！正しいラジオ | 平成30年 3月14日 | 青森市 | 1 | 17 | |
| | 楽しいテルミちゃん川柳(第5回) | 3月26日 | 青森市 | 2 | 10 | |
| | | | 計 21 回 | | 計 327人 | |
| | 親子で学ぶ消費者講座 ・親子でかしい消費者に ・LEDあかりをつくってみよう | 平成29年 8月1日 | 青森市 | 3 | 31 | 共催:青森県金融広報委員会 |
| | ・親子で学ぶ消費生活！お金の使い方 ・作ってみよう！花の巻きずし | 12月3日 | 青森市 | 3 | 33 | 共催:青森県金融広報委員会 |
| | | | 計 2 回 | | 計64人 | |
| (2)ネットワーク構築・交流事業 | 第1回まちづくり講演会 | 平成29年 4月21日 | 青森市 | 1 | 県内一般市民 | 支払金額 551(千円) |
| | 平成29年度「法の日」週間記念行事 | 5月11日 | 青森市 | 1 | 4 | 共催:青森市中心市街地活性化協議会・青森商工会議 |
| | 環境教育促進セミナー | 9月8日 | 青森市 | 2 | 8 | |
| | 平成29年度くらしとおかねのセミナー | 9月10日 | 青森市 | 1 | 19 | 主催:県金融広報委員会 |
| | 平成29年度 学校と地域の協働実践セミナー公開講演 | 9月21日 | 青森市 | 1 | 7 | 主催:県総合社会教育セン |
| | 平成29年度「法の日」週間記念行事 | 10月3日 | 青森市 | 1 | 8 | |
| | 平成29年度青森市地域力向上セミナー | 10月15日 | 青森市 | 1 | 6 | |
| | 第53回青森県消費者大会 | 11月8日 | 青森市 | 8 | 400 | |
| | アピオあおもり秋まつり | 11月11日 | 青森市 | 1 | 15 | 主催:青森県男女共同参画センター |
| | エネルギー講演会in青森 | 11月13日 | 青森市 | 1 | 4 | 主催:東北エネルギー懇談会、県エネルギー問題懇談会連絡協議会 |
| 平成29年度「攻めの農林水産業」推進大会 | 11月13日 | 青森市 | 1 | 7 | 主催:青森県 | |

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|------------------|--|---|---------------------|-----------|---|---|
| (2)ネットワーク構築・交流事業 | 平成29年度高齢者相互支援推進研修会 | 11月17日 | 青森市 | 1 | 8 | 主催:いさいきクラブ青森、青森県老人クラブ連合会、青森市老人クラブ連合会 |
| | 青森県老人クラブ会員1万人増強運動研修会 | 12月22日 | 青森市 | 1 | 12 | 主催:いさいきクラブ青森、青森県老人クラブ連合会、青森市老人クラブ連合会 |
| | 健康リフォーム講座 安心で快適な暮らしのために | 平成30年 1月20日 | 青森市 | 1 | 7 | 主催:青森県住宅リフォーム推進協議会、東北電力(株)青森支店、住宅リフォーム推進協議会 |
| | プロボノセミナー | 1月23日 | 青森市 | 3 | 2 | 主催:青森県 |
| | 第1回RISTEXプロジェクトシンポジウム2018 | 2月7日 | 青森市 | 1 | 10 | 主催:青森大学 |
| | 県産豚肉を使った料理教室 | 2月16日 | 青森市 | 3 | 16 | 主催:青森県養豚協会 |
| | H29年度ワーク付き上映会「おひとりさまを生きる」(青森会場) | 3月4日 | 青森市 | 1 | 6 | 主催:青森県男女共同参画センター |
| | | | | 計 18回 | | 計 544人 |
| | テレビ放映、新聞掲載、ラジオ番組等を通じ、啓発活動と同時に相互の連携を図った。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 青森市 | 10 | 一般市民 50,000 | |
| | 県機関等イベント参加・各種委員会などに積極的に参加し、ネットワーク構築を図った。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 県内 | 10 | 一般市民 消費者団体 | |
| (3)消費者問題研究事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌発行 広報誌を年一回、消費生活に関する情報、協会の活動などを折り込み発行した。 ・消費者月間推進 消費者月間統一テーマ「みんなでつながろう！消費者が主役の社会!!」に関連した消費者の意識啓発を図った。 ・暮らしの情報 マスコミの協力により、一般消費者に対して暮らしに関する情報を提供し、自立した消費者意識の啓発を図った。 | <p>平成29年 4月～ 平成30年 3月</p> <p>平成29年 5月</p> <p>平成29年 4月～ 平成30年 3月</p> | <p>県内</p> <p>県内</p> | | <p>支払金額 11(千円)</p> <p>一般市民・各市町村・全国連合会加盟団体・県内消費者団体</p> <p>一般市民</p> | |

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 (人) | 受益対象者の範囲及び 人数 (人) | 備考 |
|------------------------|---|---|----------------|---------------|----------------------|---------------|
| (4)青森県消費者協会事例 検討委員会 | 消費者トラブルに係る事例及び契約約款等についての調査検討、事業者への改善申入れ活動 | 平成29年 6月15日 7月31日 8月29日 10月19日 11月27日 平成30年 1月25日 3月1日 3月29日 (8回) | 青森市 県民福祉プラザ | | 一般市民 | 支払金額 6(千円) |
| (5)その他 | 県機関等が主催する各種委員会やイベントなどに参加し、連携の強化を図った。 ※もったない・あおり県民運動推進会議ほか56件に参加した。 実績は「その他の協力事項」を参照 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 県内 | 10 | 一般市民・消費者団体等 | |

2 特定非営利活動に関する受託事業

青森県からの受託事業

(1) 青森県消費生活相談等業務(消費生活センター事業)

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|--------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------------|-----------|--------------------------|-----------------|
| (1) 消費生活 苦情相談事業 | ① 苦情相談専門員の配置 (事例検討会開催を含む) 弁護士を講師に県、市町村消費者行政担当者、消費生活相談員が相談事例を検討するとともに、消費生活情報の交換を行い、市町村が行う相談処理業務に必要な支援を行った。併せて、苦情相談専門制度を目ざし、現代の消費者被害に対応するため、弁護士から専門的な助言指導を受けた。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 毎月開催 | 青森市 県民福祉プラザ | 11 | 県内市町村担当者 相談員 協会関係者 | 支払金額 584(千円) |
| | ② アドバイザー弁護士の配置 日常の相談業務等において、面談、電話、ファクシミリ等で弁護士から専門的な助言・指導を受けた。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 青森市 12回 | 16 | 一般市民 | |
| | ③ 消費者トラブル防止ネットワーク会議の庶務 県弁護士会等関係機関・団体等と連携して、消費者被害の未然防止と救済のための意見交換・情報交換を行った。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 青森市 アピオあおもり 県民福祉プラザ 4回 | | 県弁護士会等 関係39機関 | |
| | ④ 無料法律相談の実施 県内4市において弁護士による無料法律相談を開催した。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 青森市 弘前市 八戸市 十和田市 13回 | | 一般市民 延23 | |
| | ⑤ 商品テスト事業 商品被害に関わる苦情相談の解決のための商品テストを行った。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | メーカー 製品3件 | | | |

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 | |
|---------------|--|--|------------------------|-----------|--------------------|--|-----------------|
| (2)消費者啓発・教育事業 | ①消費生活情報誌の発行 消費者トラブルの未然防止等の情報や消費生活に関する情報を、情報誌「消費者情報あおもり」として発行した。 | 平成29年 9月 12,000部 平成30年 2月 12,000部 | 県内 | | | 一般市民 県内外各団体 関係機関 中学校、高校 特別支援学校、 大学 県内関係機関等 | 支払金額 433(千円) |
| | ②消費生活サポーター研修会 i 消費生活サポーター等を対象に研修会を開催した。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | | | | 消費者団体リーダー 町会会長 民生委員等 介護施設職員 | |
| | ii サポーター通信の配布 | 13回 | | | | | |
| | ③消費生活大学講座 多様な社会生活に対応するために必要な知識を学習する連続講座を開催した。 | 平成29年 5月～10月 | 青森市 県民福祉プラザ 計 6回 | | | | |
| | i 「高めよう！ 地域のか～消費者被害の防止のために、今できること～」 | 5月24日 | | 1 | 20 | 他寸劇 | |
| | ii 「メディアや広告に惑わされない食生活～『健康食品』で健康が買えますか？～」 | 6月28日 | | 2 | 17 | | |
| | iii 「見て！ 笑って！ 認知症を理解しよう～寸劇：嫁vs姑『絶対お前が盗ったんだ！！』～つき」 | 7月26日 | | 1 | 10 | | |
| | iv 「だまされる被害心理～詐欺・悪質商法から身を守るには～」 | 8月23日 | | 1 | 15 | | |
| | v 「防災意識を高揚しよう！～自然災害を知り、災害から身を守る方法～」 | 9月27日 | | 1 | 34 | | |
| | vi 「“消費者市民力”を高めよう・広めよう！～消費者被害ゼロの地域づくり～」 | 10月25日 | | 1 | 34 | | |
| | | | | | 合計96 158人×13回 | | |
| | | | | | 合計 1,521 平均 253 | | |

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 | |
|---------------|--|-------------------------------------|--------------------------|-----------|-----------------|---|-----------------|
| (2)消費者啓発・教育事業 | ④消費生活ホームページの運営 青森県消費生活センターホームページの運営、更新など102回実施 消費者被害の未然防止を図るため、最新の消費生活相談事例、消費者庁からの通知、悪質商法等の緊急情報等を掲載し、県民の注意喚起に努めた。また、関連する講座・行事等の情報提供を行った。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 青森市 | | 2 | 一般市民 (全国発信:訪問数) 39,687 (累積件数) 591,799 | 更新回数102 |
| | ⑤移動消費生活講座 (派遣講座)各市町村、学校、企業、地域、消費者団体などからの依頼により相談員を講師に派遣し、消費生活に関する講座を開催した。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 県内 84ヶ所 | | | 4,566 | |
| (3)市町村への協力等事業 | ①事例検討会および勉強会の運営 弁護士を講師に県、市町村消費者行政担当者、消費生活相談員が相談事例を検討するとともに、消費生活情報の交換を行い、市町村が行う相談処理業務に必要な支援を行った。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 毎月開催 | 青森市 県民福祉プラザ | | | 県内市町村担当者 相談員 協会関係者 245 | 支払金額 642(千円) |
| | ②市町村相談対応レベルアップ研修会の運営 市町村の相談窓口担当者の相談対応力のレベルアップを図るため、主要な相談事例を取り上げ、その具体的な処理方針を学習する実践的な研修会を運営した。 | 平成29年 10月12日 | 青森市 県民福祉プラザ 多目的室2A | | 4 | 県内市町村消費者行政担当 相談員 17 | |
| | ③青森県消費生活相談員人材バンク登録者研修会の運営 相談員の人材確保に資するため、県が実施する青森県消費生活相談員人材バンクの登録者を対象に相談業務に関する研修会を運営した。 | 平成30年 1月19日 | 青森市 県民福祉プラザ 多目的室4B | | 5 | 13 | |

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|---------------|---|--|--|---|--------------------------------|----|
| (3)市町村への協力等事業 | ④消費生活相談員による巡回訪問事業(市町村窓口への技術支援) 市町村における相談処理向上を図るため、県消費生活センターの市町村アドバイザーが、市町村巡回訪問を行った。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 県内6市 消費生活センター | 3 | 63回 | |
| | ⑤県内センター連絡会議の運営 市センターとの連携・協働での役割分担を確立するため、相談処理に係る連絡調整会議を開催した。 | 平成29年 6月9日 9月5日 12月14日 平成30年 3月16日 | 青森市 アピオあおもり 青森市 アピオあおもり 青森市 県民福祉プラザ 青森市 県民福祉プラザ | 9 | 延75 | |
| | ⑥その他 他団体が行う消費者被害未然防止・早期解決を目的とした事業への協力をした。 ・陸奥新報「くらしの玉手箱」コーナーにて消費生活情報の掲載 ・青森県長寿社会振興センター発行の機関誌「あすなる倶楽部」へ暮らしの情報コーナー掲載 各種イベントで啓発を行った。 ・ごじゃらっとひろば ・平成29年度教育支援見本市への出展 ・「縄文の杜 あおもりツーデーマーチ」出発式への参加 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 平成29年 4月～ 平成30年 3月 平成29年 5月7日 6月29日 8月31日 11月1日 11月8日 11月22日 平成30年 1月26日 7月29日 | 県内 県内 アピオあおもり 下北文化会館 青森県総合社会教育センター 三沢市航空博物館 弘前市総合学習センター 五所川原市民学習情報センター 八戸市総合教育センター 八甲田丸広場 | 1 1 2 2 1 1 1 | 年11回 年4回 300参加親子 | |

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|---------------|--|--|--|---|-----------------|----|
| (3)市町村への協力等事業 | <ul style="list-style-type: none"> 夏のキッズフェア2017へのブース参加 青森ねぶた祭への参加 弘前大学オープンキャンパスでの啓発活動 第19回シニアフェスティバル 青森大学祭 青森県生涯学習フェア 青森中央学院大学「地域密着アクトⅡ」成果報告会 アピオあおもり秋まつり あおもり教育フェスタ2017 第7回ワールドカフェにおける啓発活動 第16回子育て広場における啓発活動 青森中央学院大学学生による消費者教育講座 消費者フォーラム inHIROSAKIにおける啓発活動 第1回RITEXプロジェクト シンポジウム2018における啓発活動 特殊詐欺未然防止等のため、他団体と合同啓発活動を行った。 | 平成29年 7月30日 | 総合社会教育センター | 2 | 500 | |
| | | 8月5日 | ねぶた運行経路 | 4 | | |
| | | 8月8日 | 弘前大学 | 3 | 105 | |
| | | 9月23日 | 青森市 県民福祉プラザ | 1 | | |
| | | 9月30日 10月1日 | 青森大学 | 2 | | |
| | | 10月1日 | 県総合社会教育センター | 2 | 500 | |
| | | 10月25日 | 青森中央学院大学 | 1 | 30 | |
| | | 11月11日 | アピオあおもり | 2 | 300 | |
| | | 11月25日 | 県総合学校教育センター | 1 | 50 | |
| | | 12月17日 | 県総合学校教育センター | 2 | 100 | |
| | | 平成30年 1月13日 | アピオあおもり | 2 | 60 | |
| | | 1月20日 | 青森商業高校 | 1 | 35 | |
| | | 1月27日 | 弘前大学 | 2 | 43 | |
| | | 2月7日 | アウガ | 3 | 200 | |
| | | 平成29年 4月7日 5月24日 10月20日 11月16日 | 青森市 | 3 3 5 3 | 一般市民 | |
| | | (4)職員及び消費生活相談員への教育・研修 | ⑤青森県消費生活センター職員研修派遣事業(国民生活センター等主催専門研修) 消費生活相談等に従事する者のレベルアップを図るため、職員を消費者行政等に係る研修に参加させた。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 計16回 | 東京・仙台 秋田 | |

※ 消費生活相談状況については、別途「青森県消費生活年報」に掲載しています。

(2)青森県消費者行政推進事業
①学校における消費者教育推進事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|------------------------|---|-------------------------------|------------------------------------|-----------|-----------------|-----------------|
| (1)大学・高校における消費者教育実践モデル | <p>①大学における消費者教育の実践 大学における消費者教育導入に向けたモデル事例を実施した。</p> <p>・専門家を外部講師としての授業</p> <p>・八戸工業大学学園祭ブースでの展示啓発、講座</p> <p>・消費者フォーラムin八戸</p> <p>②高校における消費者教育の実践 3高等学校、1特別支援学校において、家庭科、公民、総合学習、課題研究等の時間を利用し消費者教育体系イメージマップをもとにモデル的に授業を実施した。</p> <p>・青森県立青森中央高等学校 ・青森県立青森商業高等学校 ・青森県立浪岡高等学校 ・青森県立青森第二高等養護学校</p> <p>※家庭科公民科、総合学習、課題研究、生活単元、情報、家庭科等の学習の授業において消費者教育の専門家と連携して実践</p> <p>③運営検討委員会の開催 大学教授各校担当教諭、指導主事、消費生活主任相談員による運営委員会を設置し、上記②のサポートを行った。</p> <p>・モデル校のサポート ・事業の評価</p> | 平成29年 4月～ 平成30年 2月 | 八戸工業大学 | 4 | | 支払金額 374(千円) |
| | | 平成29年 6月～11月 6コマ | | 2 | 学生延268 | |
| | | 10月7日、8 | 八戸工業大学 | 2 | 500名 | |
| | | 12月16日 | 八戸市総合教育センター | 4 | 67名 | |
| | | 平成29年 4月～ 平成30年 2月 | | 4 | | |
| | | 各県立高校 | 生徒300 10 30 教職員67 生徒51 | | | |
| | | 3 | | | | |
| 平成29年 4月14日 | アピオあおもり | 3 | 検討委員14 | | | |
| 7月28日 | 県民福祉プラザ | 3 | 検討委員13 | | | |
| 平成30年 1月17日 | 県民福祉プラザ | 3 | 検討委員13 | | | |
| (2)消費者教育セミナーの開催 | 消費者教育を総合的かつ一元的に推進するため、消費者教育の推進に関する法律(平成24年法律第61号)が平成24年12月から施行されたことを踏まえ、消費者教育の進行役としての役割が期待される学校の教職員等の指導力向上を図るため、消費者教育セミナーを開催した。 | 平成29年 11月13日 9:50～16:00 | 県民福祉プラザ | 7 | 89 | 支払金額 331(千円) |

②寸劇による消費者教育推進事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|----------------|--|-----------------------------|------------|-----------|------------------|---|
| 寸劇による消費者教育推進事業 | 子どもからお年寄りまで、幅広い年代層の県民が消費者問題について理解し、必要な知識を身につけ消費者トラブルを未然に防止できるよう、寸劇を活用した出前講座等の消費者教育事業を実施した。 | 平成29年 4月～ 平成30年 2月 | 県内 45ヶ所 | 5 | 2,757 (2,061) | 支払金額 1,731(千円) ()移動消費生活講座と重複 |

③高齢者の消費者被害未然防止対策事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|-------------------|--|-----------------------------|-----------|-----------|-----------------|-------------------|
| 高齢者の消費者被害未然防止対策事業 | ①消費者被害防止の啓発のために、高齢者向け啓発グッズを作成し、交通安全母の会・各市町村消費者行政担当者と連携して、高齢者に直接配布した。 | 平成29年 5月～6月 | 県内 | 3 | 一般県民 | 支払金額 3,541(千円) |
| | ②高齢者の消費者被害防止の啓発を図るため、啓発ポスター・チラシを作成・配布した。 | 平成29年 5月～6月 | 県内 | 3 | 一般県民 | |
| | ③県消費生活センターの Mascotキャラクター「テルミちゃん」の着ぐるみを活用し、各市町村・団体等が実施するイベント等の様々な場面で高齢者の消費者被害防止に向けた啓発活動を実施した。 | 平成29年 4月～ 平成30年 2月 | 県内 24回 | 2 | 一般県民 | |
| | ④高齢者の消費者被害防止に向けた啓発活動に使用するため、県消費生活センターの Mascotキャラクター「テルミちゃん」のテーマソングを作成した。 | 平成30年 2月 | 県内 | 1 | 一般県民 | |

④各種広報媒体を活用した広報事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|---|--|---|--|-----------|--|-------------------------|
| (1)テレビ・ラジオ・新聞を活用した広報事業 | 県及び市町村が広域で設置するの消費生活センターの認知度を高め、消費者被害の救済や未然防止につなげるとともに、消費者教育・啓発の推進に資するため、テレビ・ラジオ・新聞広告・シネアド等を活用した広報事業を実施した。 | 平成29年 12月19日～ 平成30年 1月14日 | 県内 | 5 | 県内一般市民 | 支払金額 11,835(千円) |
| (2)交通広告・大規模集客施設・高齢者が立ち寄る施設(調剤薬局)等へのポスター掲出 | 県及び市町村が広域で設置するの消費生活センターの認知度を高め、消費者被害の救済や未然防止につなげるとともに、消費者教育・啓発の推進に資するため、金融機関、調剤薬局、大型店舗への広告掲載、県内路線バス車内・バス待合所・駅構内への交通広告を活用した広報事業を実施した。 | 平成29年 12月15日～ 平成30年 1月14日 | 県内 | 5 | 県内一般市民 | |
| (3)大型集客施設でのキャンペーンの実施 | 188の周知及び特殊詐欺の未然防止のキャンペーンを実施するとともに特殊詐欺防止に向けたアンケート調査を実施した。 | 平成30年 1月5日 1月6日 1月7日 1月13日 1月14日 1月21日 1月27日 | 県内7市 サンロード青森 シンフォニープラザ沼館 むつマエダ本店 イオンモール下田 さくら野弘前店 イオンスーパーセンター十和田 イオンモールつがる柏 | 3 | 合計2,716 419 301 531 381 351 364 369 | ※アンケート回答者2,716人 100% |

⑤地域見守り力支援強化事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 | |
|--------------|--|-----------------------------|----------------------|-----------|-----------------|-----------------|----|
| 地域見守り力支援強化事業 | 市町村が構築した「相談窓口ネットワーク」の効果を向上させるため、ネットワークに参加する団体の構成員を対象とした相談窓口の活用や注意すべきポイント等を伝達するための研修会を、市町村等と共同で企画し実施した。 | 平成29年 4月～ 平成30年 2月 | | 4 | | 支払金額 781(千円) | |
| | | ○市町村への支援 | | | | | |
| | | 黒石市 | 平成29年 12月6日 | 黒石市六宝館 | 2 | | 40 |
| | | 板柳町 | 平成30年 1月23日 | 板柳町福祉センター | 2 | | 11 |
| | | 野辺地町 | 平成30年 2月22日 | 野辺地町役場 | 1 | | 4 |
| | ○地域における見守りの担い手増加のため、研修会を事業所等と共同で企画し実施 8回 | 平成29年 4月～ 平成30年 2月 | | 1 | | | |
| | ○病院、薬局、市町村等様々な年齢層の者が利用する施設等を対象に、高齢者等への見守りの重要性等を啓発するポスター・チラシを作成し配布した。 ポスター 2,800 チラシ 30,000 | 平成29年 8月 | 配布先 県内 2,218カ所 | 1 | 一般県民 | | |
| | | | | | 一般県民 | | |

⑥子育て世代に向けた消費者教育推進事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|--------------------|--|-----------------------------|---------|-------------|-----------------|-----------------|
| 子育て世代に向けた消費者教育推進事業 | 子育て世代の親が、自主的かつ合理的な消費者行動を行う自立した消費者となることを目指して、意識啓発を図るため、効果的な意識啓発手法や啓発資料を作成するための検討会を組織し、実施した。 ○子育て世代に向けた消費者教育推進検討会議 ○リーフレット作成配布 保育施設等を通じて就学前の子供を持つ親に配布 | 平成29年 6月～ 平成30年 2月 | 県民福祉プラザ | 4 | 一般県民 788箇所配布 | 支払金額 997(千円) |
| | | 5回実施 | | 平成30年 1月 | | |

⑦消費者団体の育成及び協働の促進

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|---------------------|---|---|--|--|---|-------------------|
| (1) 実行委員会及びフォーラムの開催 | 地域において消費者問題に携わる消費者団体や地方自治体をはじめとする主体が実行委員会を行い、交流・連携する場として情報共有や意見交換等を行うブロックフォーラムを県内2地域で開催した。 ①むつ市 ・実行委員会3回 ・消費フォーラムinむつ ②外ヶ浜町 ・消費フォーラムin外ヶ浜町 | 平成29年 7月6日 8月30日 11月16日 10月28日 平成29年 6月30日 8月30日 11月16日 10月15日 | むつ市役所 むつ市役所 むつ市役所 むつ市来さまい館 外ヶ浜町役場 外ヶ浜町役場 外ヶ浜町役場 外ヶ浜町中央公民館 | 3 3 3 5 3 3 3 5 | 委員7 委員8 委員2 84 委員等8 委員等6 委員等5 59 | 支払金額 1,030(千円) |
| | | | | | | |

⑧消費生活情報ネットワーク構築事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 (人) | 受益対象者の範囲及び 人数 (人) | 備考 |
|------------------|--|------------------------------|---------------------------------------|---------------|----------------------|-----------------|
| 消費生活情報ネットワーク構築事業 | <p>成人層・職域を中心に情報発信の強化を図り、消費生活に関する情報が相互に流通するネットワークを構築するため、従業員等への消費者教育・情報伝達に協力してもらえる事業者・団体掘り起こしを目的として各地区の事業所等を訪問し、消費生活センター等が実施する各種啓発事業及び啓発資材の紹介及び事業趣旨を説明し協力を依頼した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所訪問 ・事業所での出前講座 ・啓発資料等の配布 | 平成29年 10月～ 平成30年 2月 | <p>県内</p> <p>8ヶ所 8ヶ所 31ヶ所</p> | 2 | 県内一般市民 | 支払金額 383(千円) |

青森市からの受託事業

(1) 青森市消費生活苦情相談等業務

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数(人) | 受益対象者の範囲及び人数(人) | 備考 |
|-----------|---|-----------------------------|---|-----------|-----------------------|------------------|
| 消費生活相談等事業 | ①消費者月間事業 消費者月間統一テーマ 「行動しよう 消費者の未来へ」に関連した消費者の意識啓発を図った。 | 平成29年 5月 | 青森市役所 市民サロン | 2 延10 | 青森市民 入場者 675名 | 支払金額 12,782千円 |
| | ②消費生活出前講座 青森市内の大学、地域の団体等からの依頼により、相談員を講師として派遣し、消費生活に関する講座を開催した。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 青森市 | 1 延15 | 青森市民 受講者 727名 | |
| | ③市等主催研修会出席 消費生活相談業務に従事する職員のレベルアップを図るため、青森市及び国民生活センター等主催の研修に出席した。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 青森市 7 東京都 2 神奈川県3 宮城県3 秋田県1 | 3 延18 | 相談員 16講座 | |
| | ④情報提供業務 青森消費生活センターの周知及び消費者教育、啓発並びに消費者被害の未然防止を図るため、各種パンフレット等の市役所内展示、備付及び街頭での配布を行った。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 青森市 | 2 | 青森市民 600名 | |
| | ⑤市広報誌及び市ホームページへの掲載 市広報誌及び市ホームページへ消費者問題を掲載し、市民への啓発、周知を図った。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 青森市 | 2 | 青森市民 (広報紙) 全戸配布 | |

五所川原市からの受託事業

(1)五所川原市消費生活苦情相談等業務

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 (人) | 受益対象者の範囲及び 人数 (人) | 備考 |
|-----------|---|-----------------------------|---------------------------|---------------|----------------------|-------------------|
| 消費生活相談等事業 | ①相談員に対する研修の実施 消費生活相談業務に従事する職員のレベルアップを図るため、青森県消費生活センター及び国民生活センター等主催の研修に出席した。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 青森市 13 神奈川県 6 仙台市 2 | 3 | 相談員 21講座 延23 | 支払金額 9,051(千円) |
| | ②情報提供業務 五所川原市消費生活センターの周知及び消費者被害未然防止を図るため、各種パンフレット等の市施設への展示及び備付を行った。また、市が後援するイベント等で市とともに各種パンフレット等を配布した。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 五所川原市 | 2 | 五所川原市民 | |
| | ③市広報誌及び市ホームページへの掲載 市広報誌及び市ホームページへ消費者問題を掲載し、市民へ啓発、周知を図った。 | 平成29年 4月～ 平成30年 3月 | 五所川原市 | 2 | 五所川原市民 | |